

2017/3期 決算説明会

クオール

あなたの、いちばん近くにある安心

The First Section of the Tokyo Stock Exchange 3034



クオール株式会社



■2017/3期 決算総括

■セグメント別業績

(1) 調剤事業

(2) BPO受託事業

■2018/3期 業績予想

■今後の事業展開

(1) 調剤事業

(2) BPO受託事業

■2017/3期 決算総括

■セグメント別業績

(1) 調剤事業

(2) BPO受託事業

■2018/3期 業績予想

■今後の事業展開

(1) 調剤事業

(2) BPO受託事業

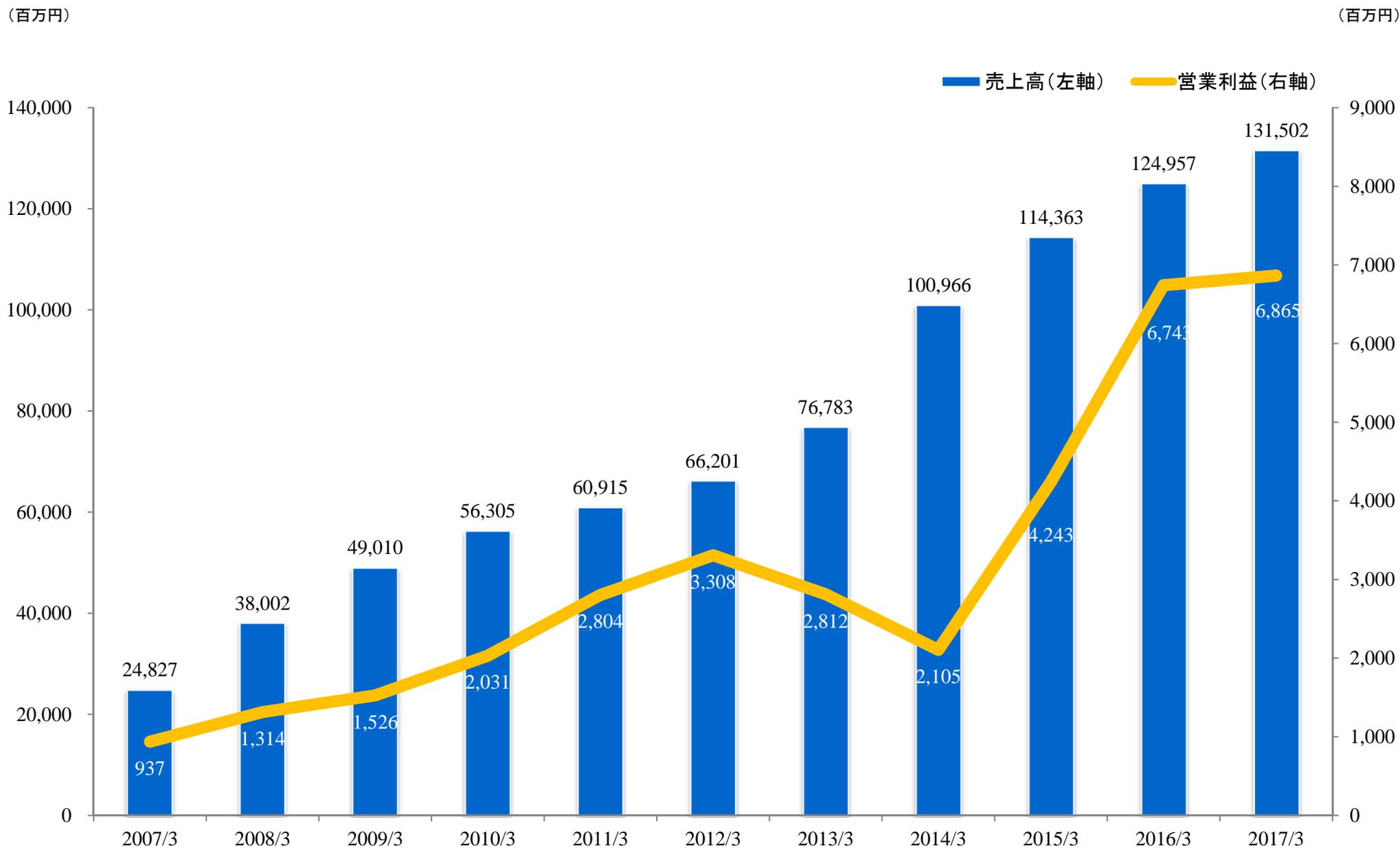
(単位:百万円)	2016/3期*	2017/3期	増減	増減率 (%)	2017/3期 計画	達成率 (%)
売上高	124,957	131,502	6,544	5.2%	138,000	95.3%
営業利益	6,743	6,865	122	1.8%	6,800	101.0%
経常利益	6,688	7,065	377	5.6%	6,800	103.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,709	4,353	644	17.4%	3,700	117.7%
1株当たり 当期純利益(円)	107.78	128.35	20.57	19.1%	-	-

*2016/3期は遡及修正値

■ 増収・増益要因

- ✓ 積極的なM&Aによる売上増 +7,407百万円(+11.5%)
- ✓ BPO受託事業のニケタ成長・収益改善
(セグメント売上増 +1,256百万円(+13.0%)、セグメント利益1.5倍)
- ✓ 医薬品調達コストのコントロール・在庫管理強化

上場来10期連続増収、3期連続増益



(参考) 連結貸借対照表



(単位:百万円)	2016.3.31*	2017.3.31	増減
流動資産	37,824	36,578	△ 1,246
現金及び預金	16,523	14,174	△ 2,349
固定資産	31,996	44,668	12,672
有形固定資産	8,969	10,373	1,403
無形固定資産	18,474	29,483	11,008
資産合計	69,847	81,290	11,442
流動負債	29,344	31,183	1,839
固定負債	19,481	28,473	8,992
負債合計	48,825	59,657	10,832
有利子負債	23,551	34,887	11,336
資本金	2,828	2,828	-
純資産	21,022	21,632	610
自己資本	20,763	21,317	554
負債純資産合計	69,847	81,290	11,442

■ 資産 増減要因:

- ✓ 現預金 △2,349百万円
- ✓ 出店・M&Aによる有形固定資産増 +1,403百万円
- ✓ のれん +11,119百万円

■ 負債 増減要因:

- ✓ 有利子負債 +11,336百万円

■ 純資産 増減要因:

- ✓ 利益剰余金 +3,457百万円
- ✓ 自己株取得 △2,713百万円

ROE向上 20.7%(前年比+1.2)

*2016.3.31は遡及修正値

(参考) キャッシュ・フロー計算書



(単位: 百万円)	2016/3期*1	2017/3期
営業活動による キャッシュ・フロー	7,539	5,813
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,348	△ 15,392
フリーC/F	4,190	△ 9,579
財務活動による キャッシュ・フロー	4,085	7,435
うち配当金の支払額	△ 755	△ 896
現金・現金同等物の 増減額	8,275	△ 2,143
現金・現金同等物の 期首残高	8,011	16,287
現金・現金同等物の 期末残高	16,287	14,144

営業CF減少 増減額△1,726百万円

- ✓ 税金等調整前当期純利益 7,180百万円
(前年比+748百万円)
- ✓ 前年法人税等の支払額増加
(前期比+1,608百万円)

投資活動CF支出 増減額+12,044百万円

- ✓ 積極的なM&A

財務活動CF増加 増減額+3,350百万円

- ✓ 新規借入・社債増加(投資資金調達)
- ✓ 自己株取得による支出額 2,838百万円

*2016/3期は遡及修正値

■2017/3期 決算総括

■セグメント別業績

(1) 調剤事業

(2) BPO受託事業

■2018/3期 業績予想

■今後の事業展開

(1) 調剤事業

(2) BPO受託事業

(百万円)	2016/3期*1	2017/3期	増減	増減率(%)
調剤事業売上高	115,308	120,596	5,287	4.6%
営業利益*2	6,712	6,161	△ 550	△8.2%
利益率(%)	5.8%	5.1%	△0.7%	-
BPO受託事業売上高	9,649	10,905	1,256	13.0%
営業利益*2	1,000	1,498	498	49.8%
利益率(%)	10.4%	13.7%	3.4%	-

*1 2016/3期は遡及修正値

*2 セグメント間取引消去前利益

■ 調剤事業

- ✓ 共栄堂86店舗をはじめ、M&A10案件(計125店舗)の寄与により増収確保
- ✓ 処方箋応需枚数二ケタ増加ながら、改定影響・C型肝炎治療薬減少により処方箋単価は減少

■ BPO受託事業

- ✓ 連結利益に占めるBPO事業の割合が20%に (2016/3期13%)

■2017/3期 決算総括

■セグメント別業績

(1) 調剤事業

(2) BPO受託事業

■2018/3期 業績予想

■今後の事業展開

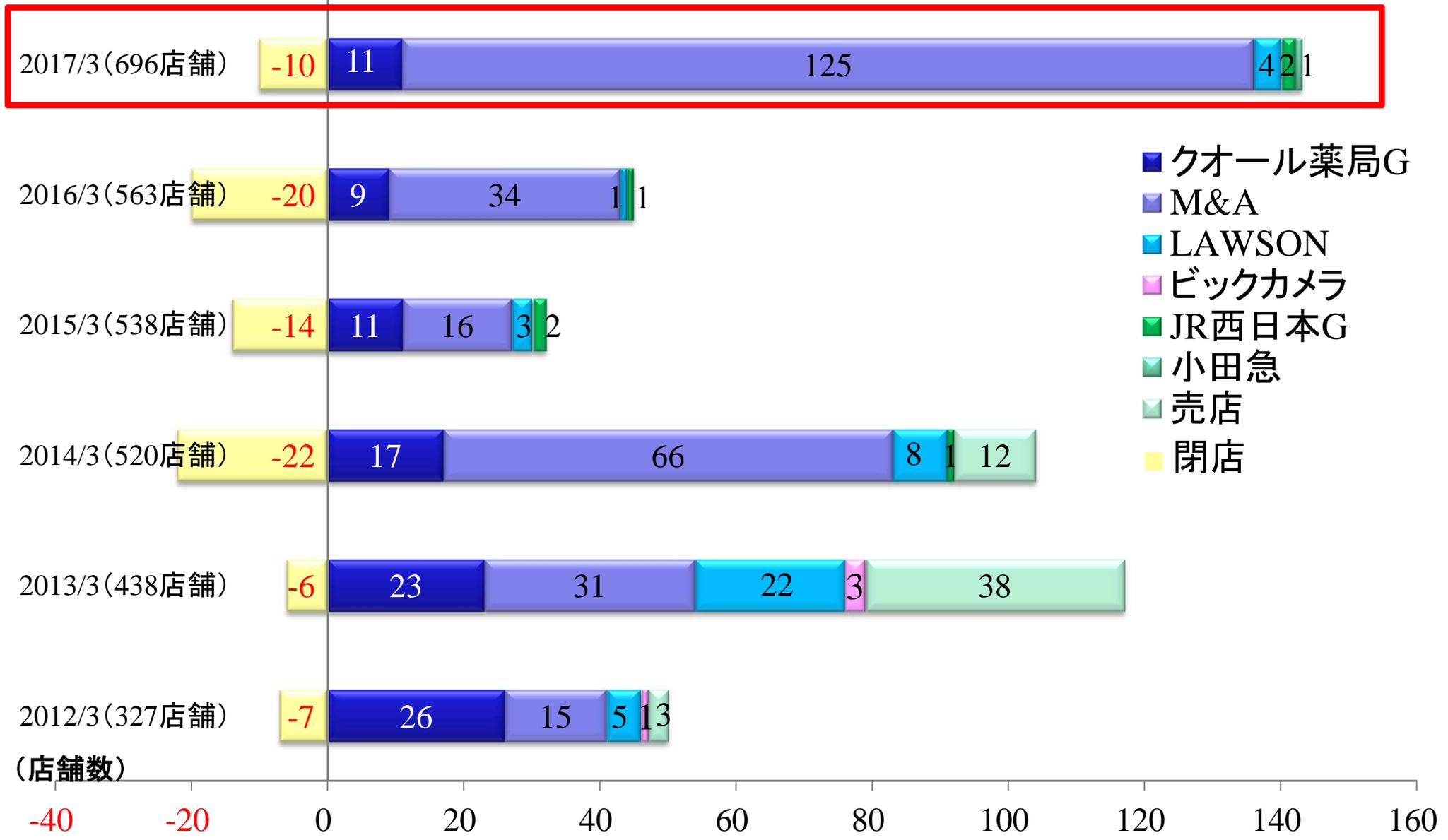
(1) 調剤事業

(2) BPO受託事業

【調剤事業】 2017/3期は過去最高の143店舗出店

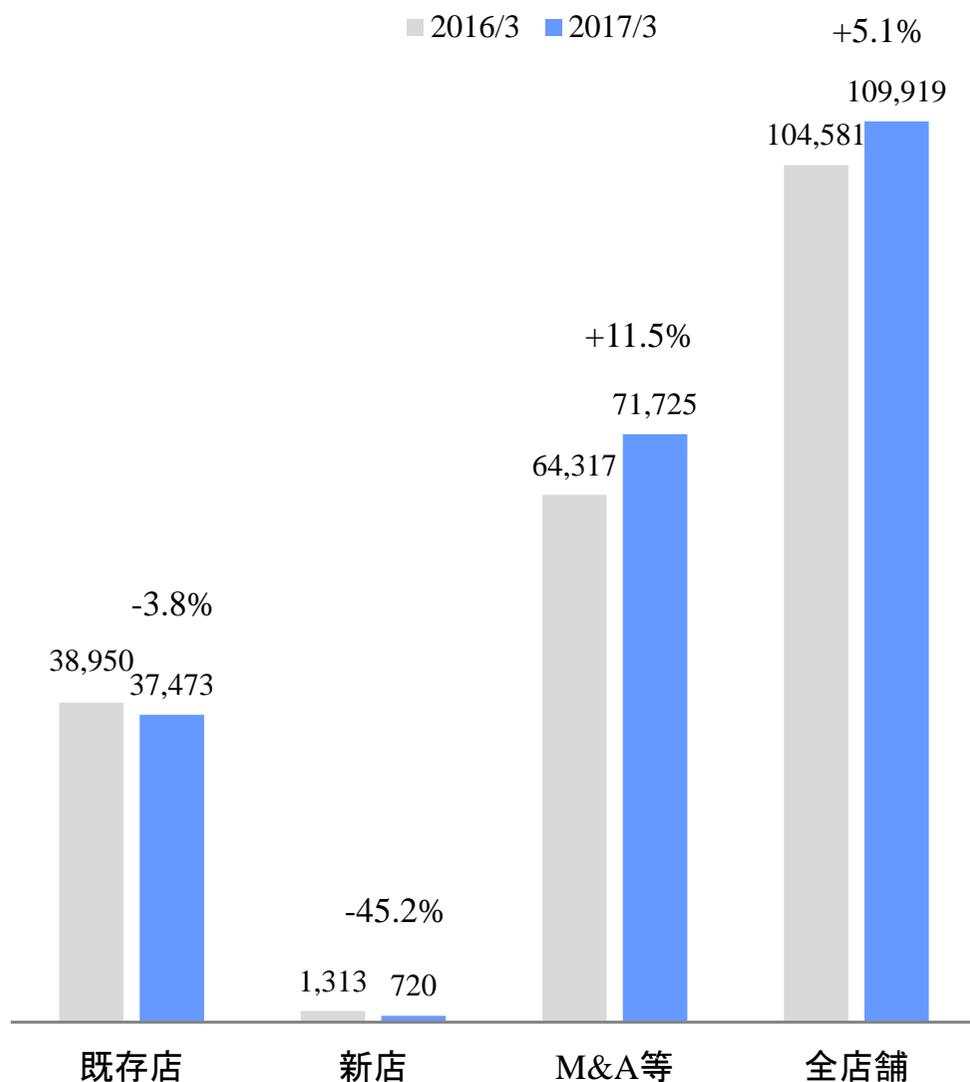


■ 出店推移

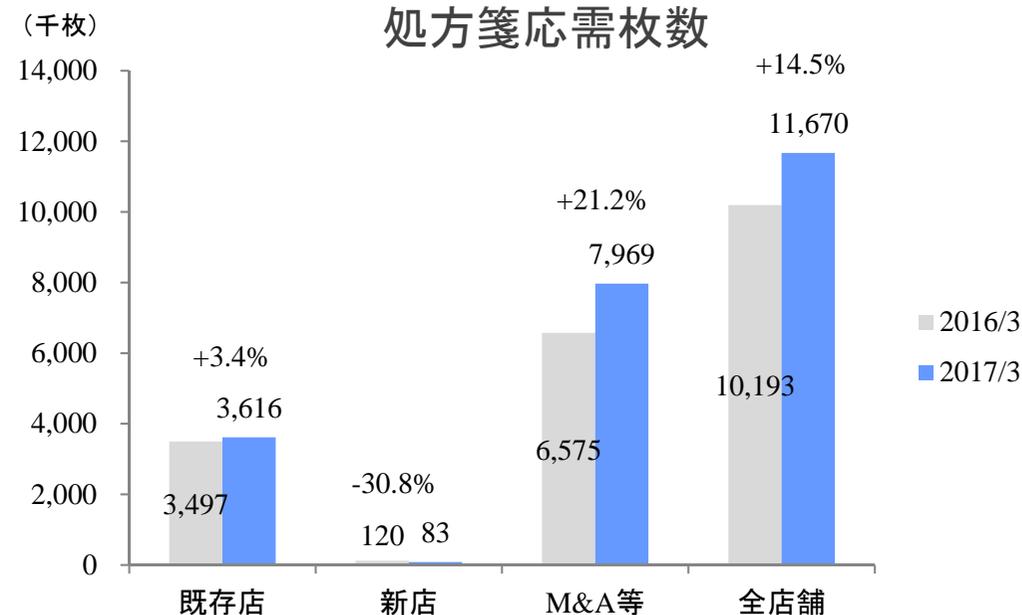


調剤売上高（百万円）

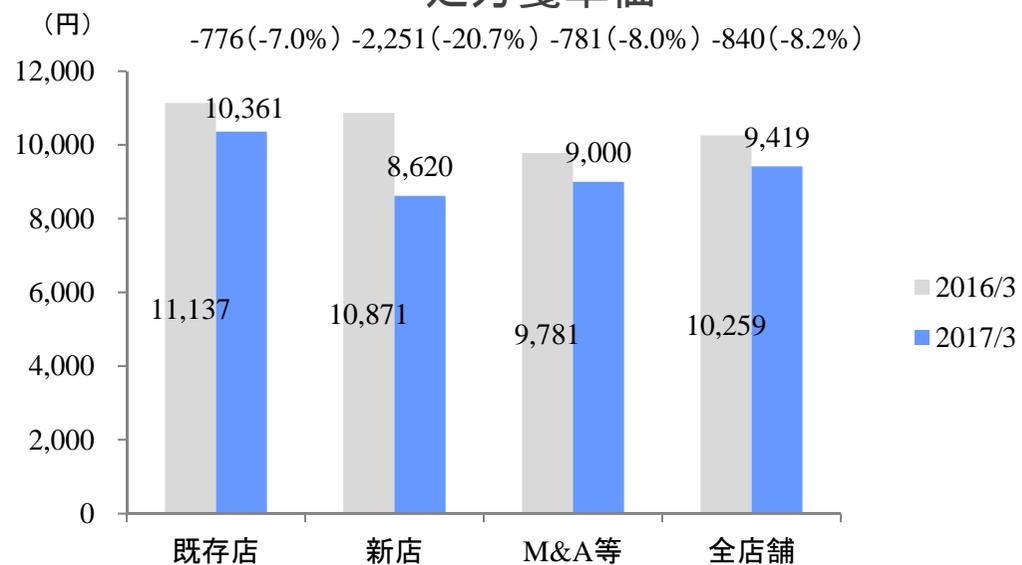
（調剤売上高=処方箋応需枚数×処方箋単価）



処方箋応需枚数



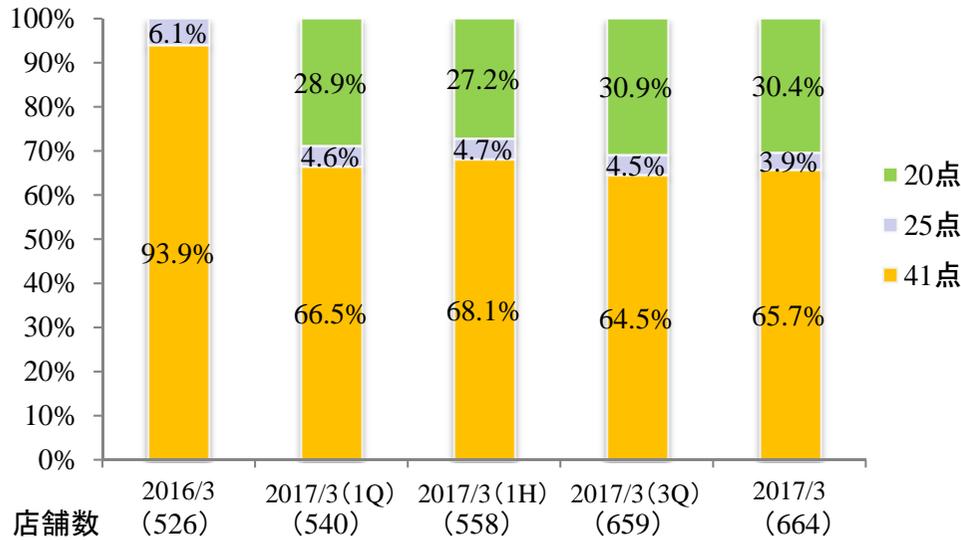
処方箋単価



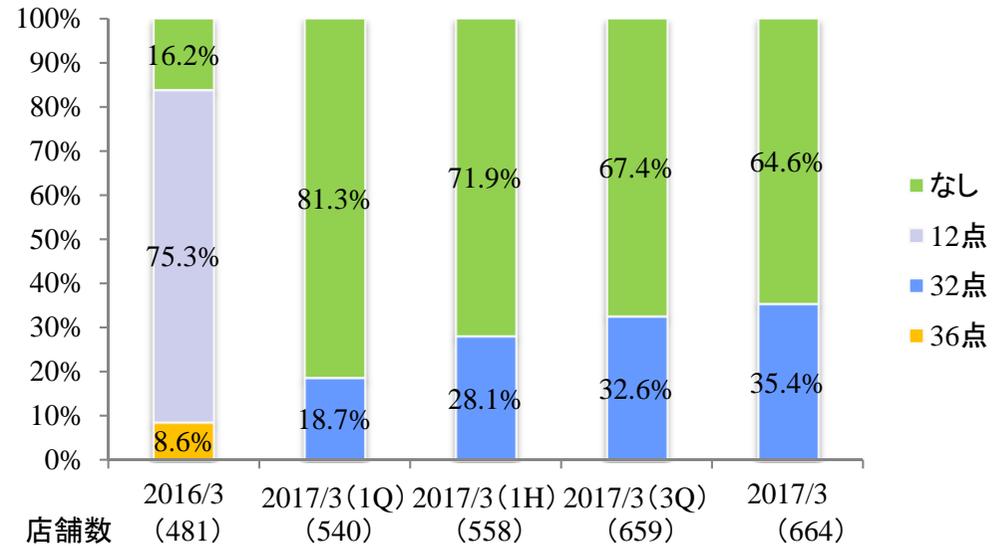
【調剤事業】 診療報酬改定の影響 下半期には技術料改善



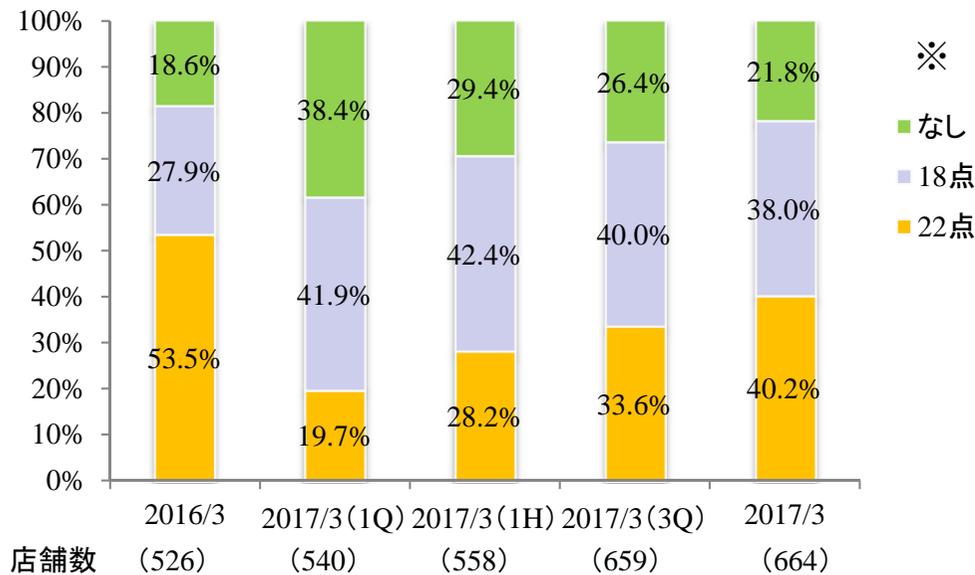
調剤基本料 店舗割合



基準調剤加算 店舗割合 (連結ベース)



GE医薬品調剤体制加算 店舗割合



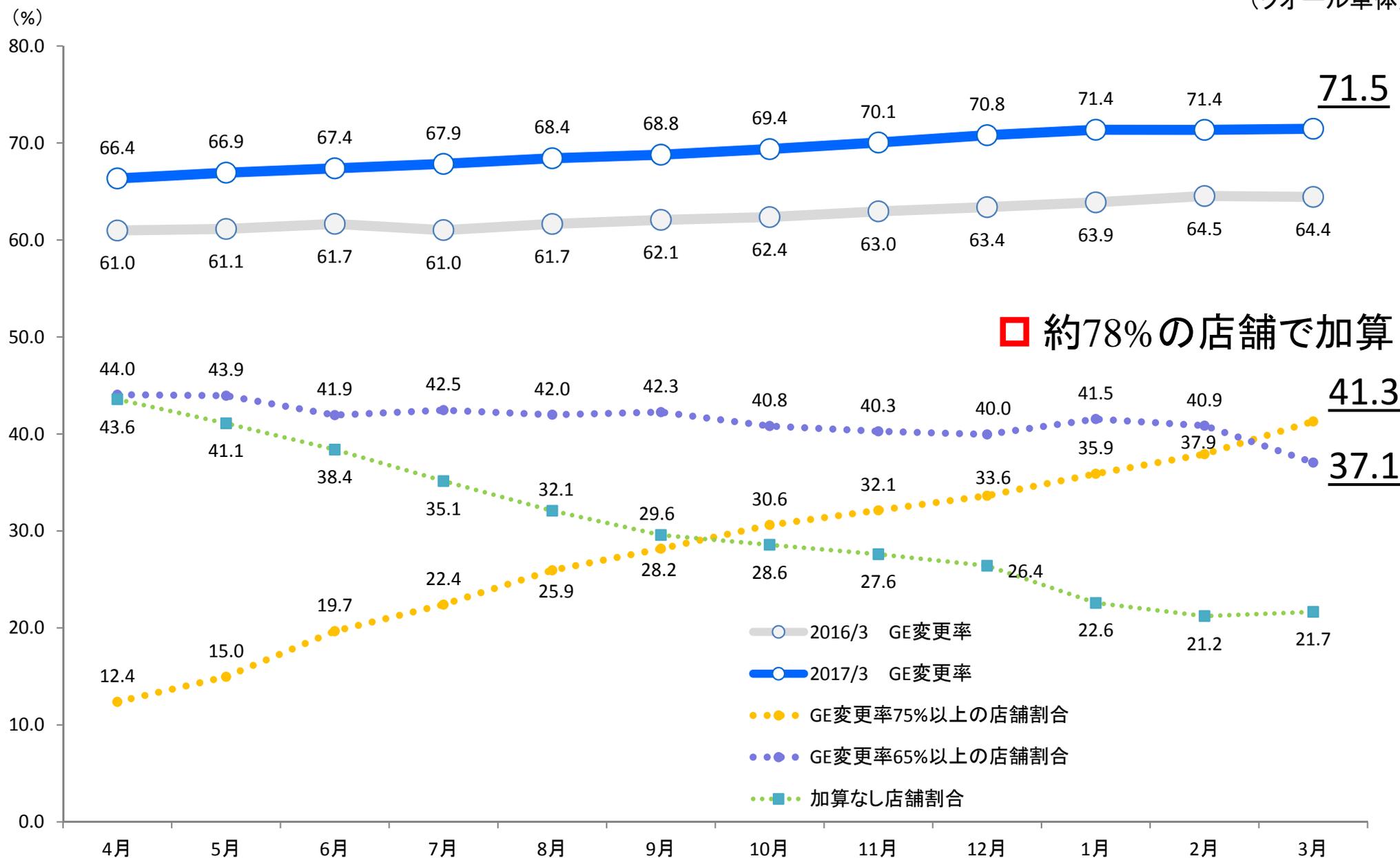
※

2016/3期	18点	数量ベース55%以上
	22点	数量ベース65%以上
2017/3期	18点	数量ベース65%以上
	22点	数量ベース75%以上

【調剤事業】 ジェネリック推進状況



(クオール単体)



■2017/3期 決算総括

■セグメント別業績

(1) 調剤事業

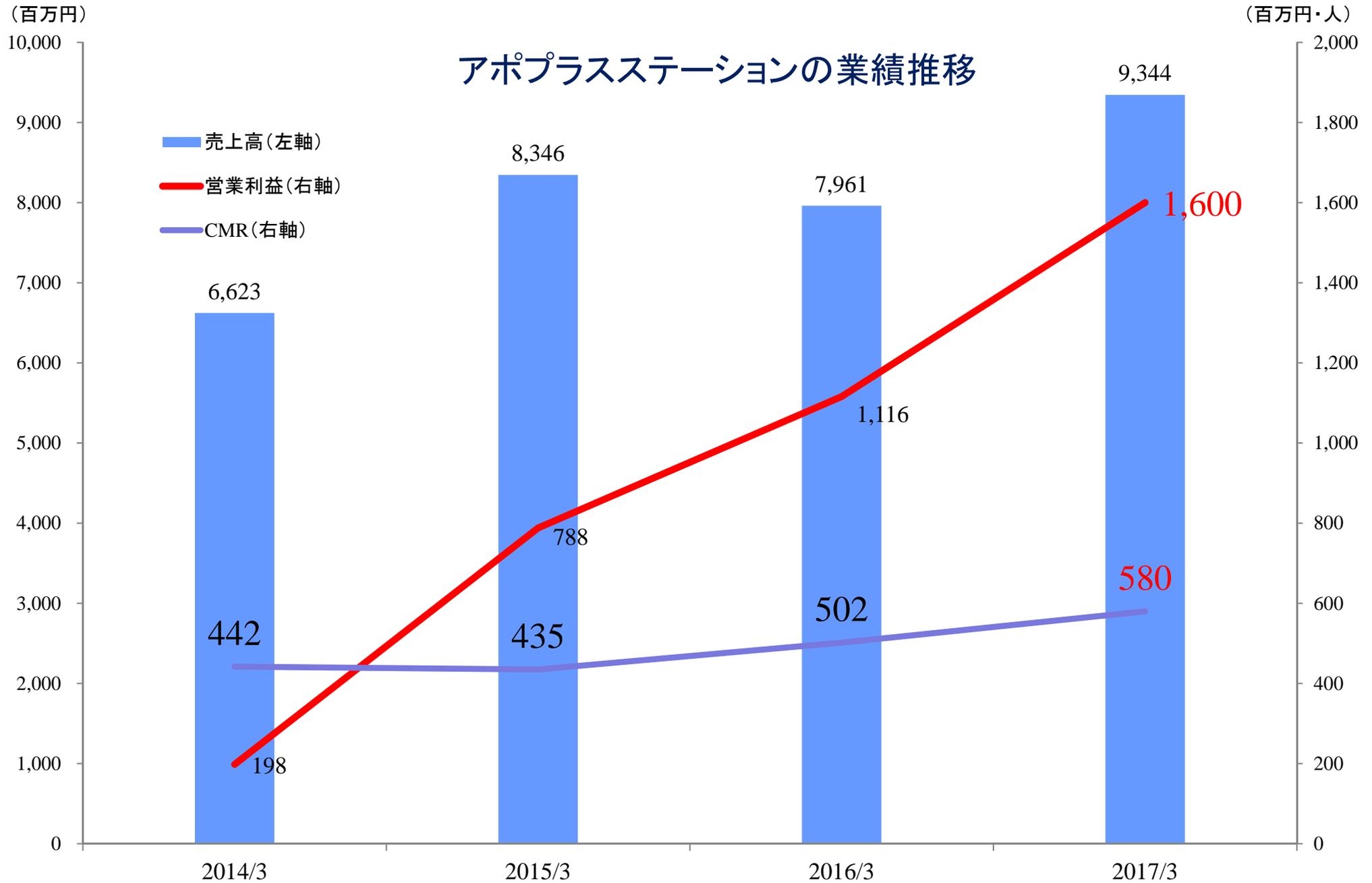
(2) BPO受託事業

■2018/3期 業績予想

■今後の事業展開

(1) 調剤事業

(2) BPO受託事業



■2017/3期 決算総括

■セグメント別業績

(1) 調剤事業

(2) BPO受託事業

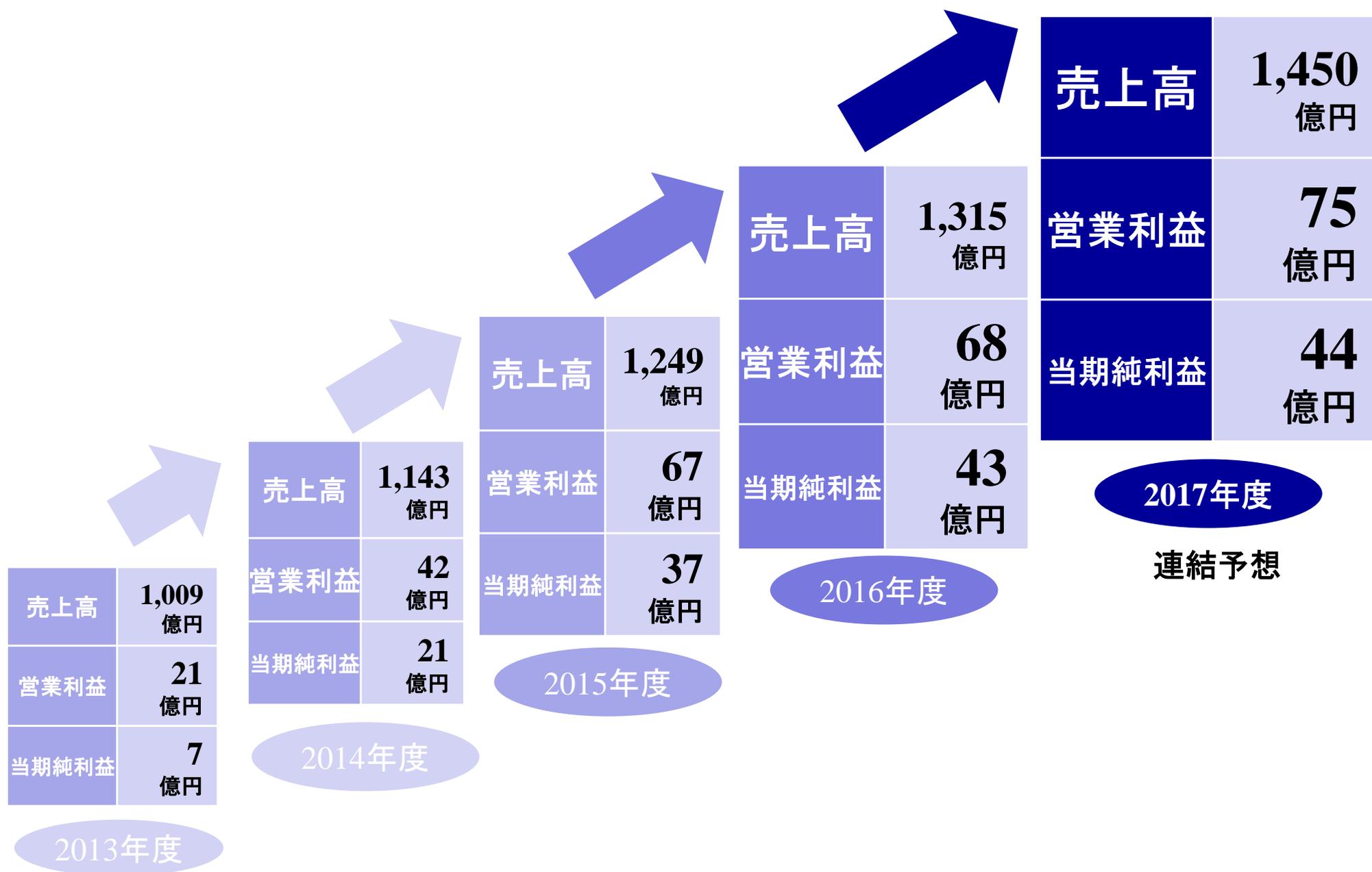
■2018/3期 業績予想

■今後の事業展開

(1) 調剤事業

(2) BPO受託事業

連結業績推移(実績及び予想)



■ 両セグメントにおいて、ニケタ増益を見込む

(百万円)	2017/3期	2018/3期(予)	増減	増減率(%)
調剤事業売上高	120,596	134,381	13,784	11.4%
営業利益*	6,161	6,870	708	11.5%
利益率(%)	5.1%	5.1%	0.0%	-
BPO受託事業売上高	10,905	11,187	281	2.6%
営業利益*	1,498	1,701	202	13.5%
利益率(%)	13.7%	15.2%	1.5%	-

*セグメント間取引消去前利益

■2017/3期 決算総括

■セグメント別業績

(1) 調剤事業

(2) BPO受託事業

■2018/3期 業績予想

■今後の事業展開

(1) 調剤事業

(2) BPO受託事業



■服薬情報の一元的管理



■在宅推進



■がん患者さまの頼れる薬局



- 延3,000名を超えるQOL認定薬剤師*
- 130名超のQOLがん認定薬剤師*

QOLがん
認定薬剤師

QOL認知症
認定薬剤師

QOL糖尿病
認定薬剤師

QOL在宅
認定薬剤師

認証機構
認定薬剤師

セルフ
 Medikেশン
研修

OTC医薬品
知識強化

登録販売者
販売スキル

コンプライアンス
研修

*クオール独自の薬剤師認定制度

持続的成長に向けた積極的な出店 2018/3期計画 90店舗出店



新店 20店舗



M&A 60店舗



新業態店舗 10店舗



医療専門性

専門性

かかりつけ薬局
高度薬学管理機能



より生活者の近くへ

- ・応需医療機関増加
- ・処方箋枚数増加
- ・高い新患率

ビックカメラ

(4店舗)



LAWSON

(34店舗)



生活密着・利便性

小田急電鉄

(1店舗)



JR西日本G

(6店舗)



地域密着性・利便性

2018/3期 グループ内在庫の全体最適化を目指す

- 2017/3期は物流センターを通じ不働在庫が半減(グループ内効率消化)
- 2018/3期はIT情報の活用による**在庫の最適化**を目指す



■2017/3期 決算総括

■セグメント別業績

(1) 調剤事業

(2) BPO受託事業

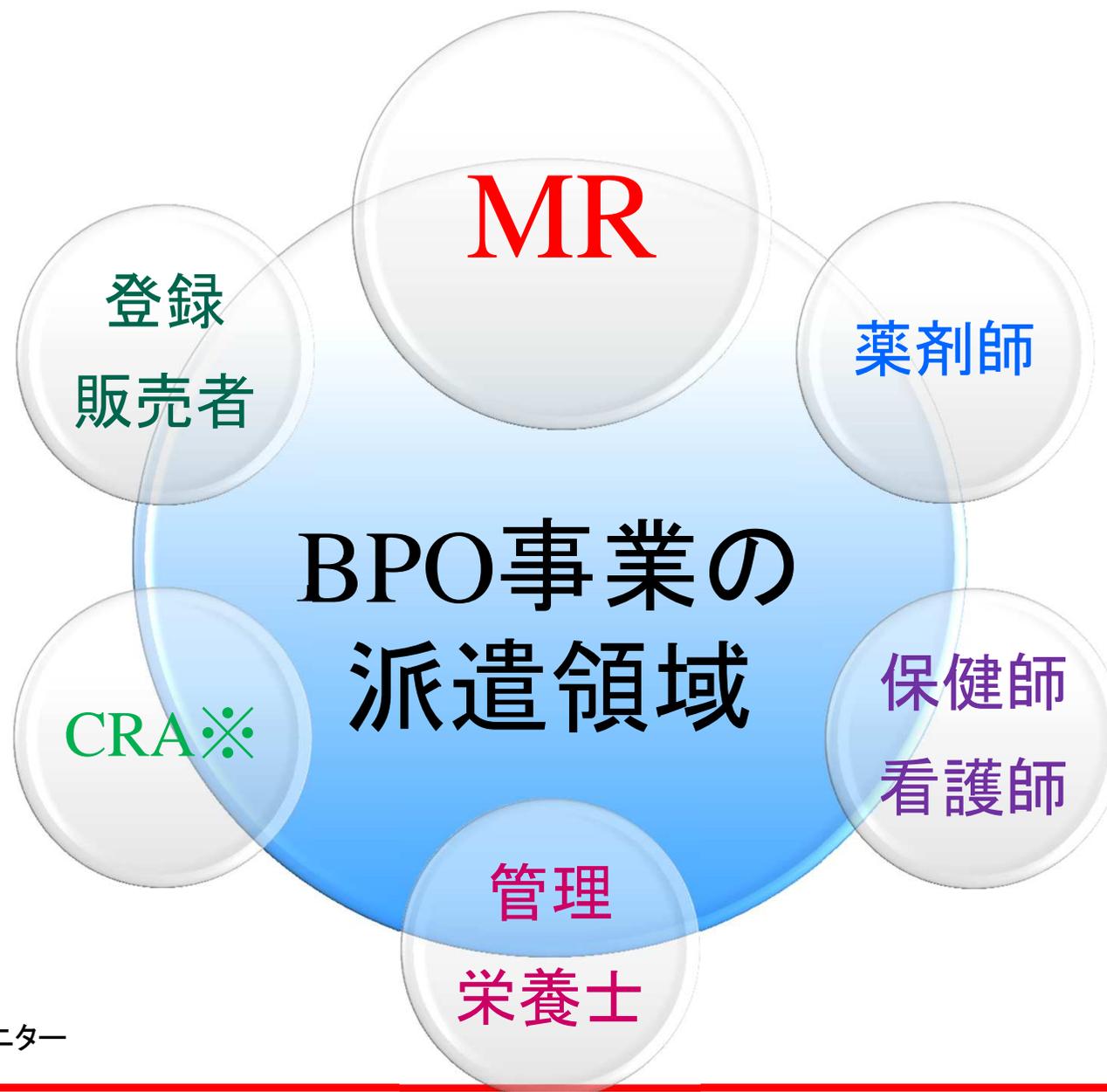
■2018/3期 業績予想

■今後の事業展開

(1) 調剤事業

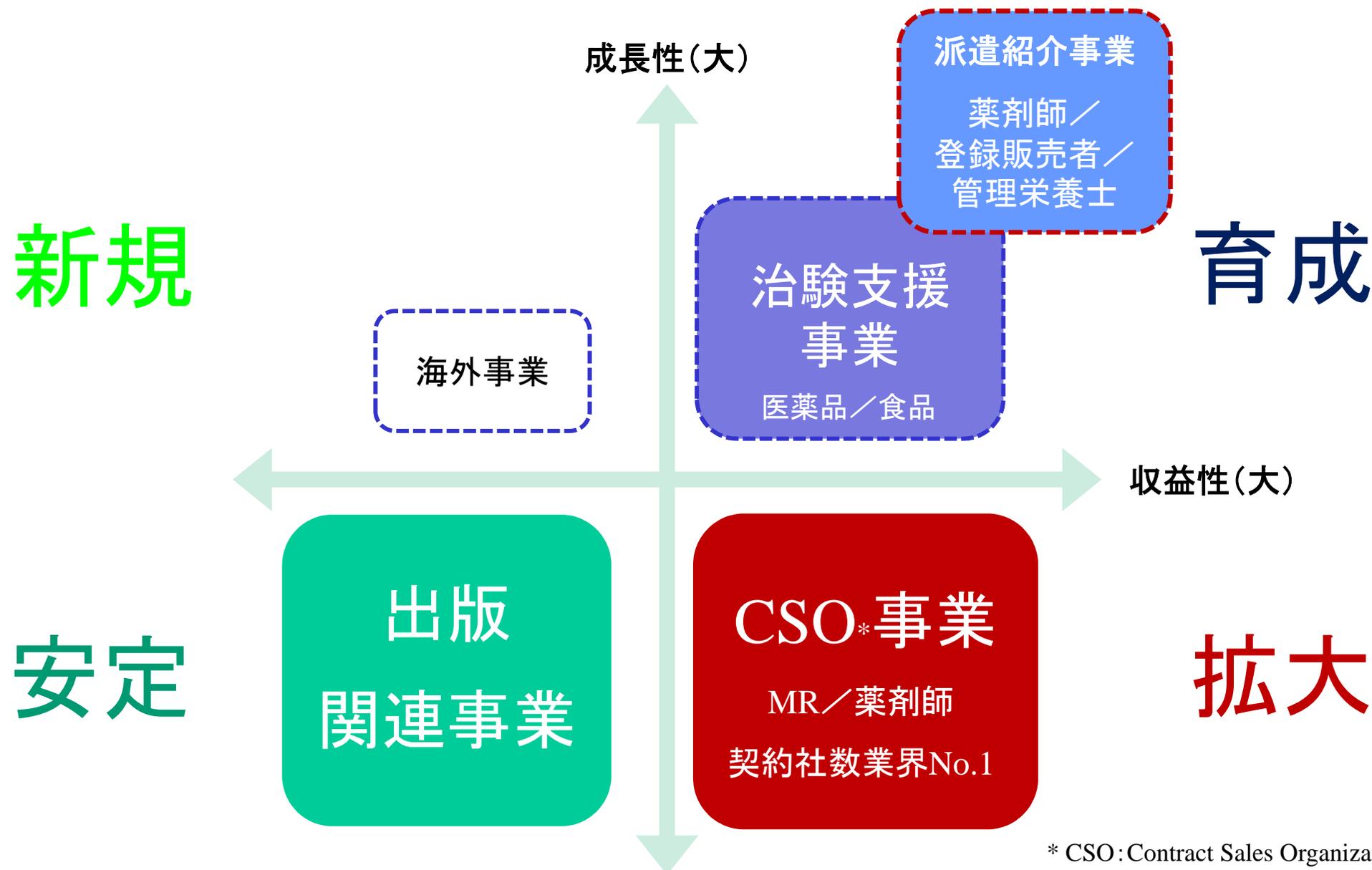
(2) BPO受託事業

- 多様な職種において安定的なニーズが続く



※CRA:臨床開発モニター

■ 事業成長フェーズに合わせた最適マネジメント



■ ASEAN進出、本格稼働開始

アポプラスステーション(タイランド)株式会社を2016年に設立
医療用医薬品・OTC等のFDA申請代行を開始

国内製薬企業のタイ進出サポート

Thailand



■補足資料

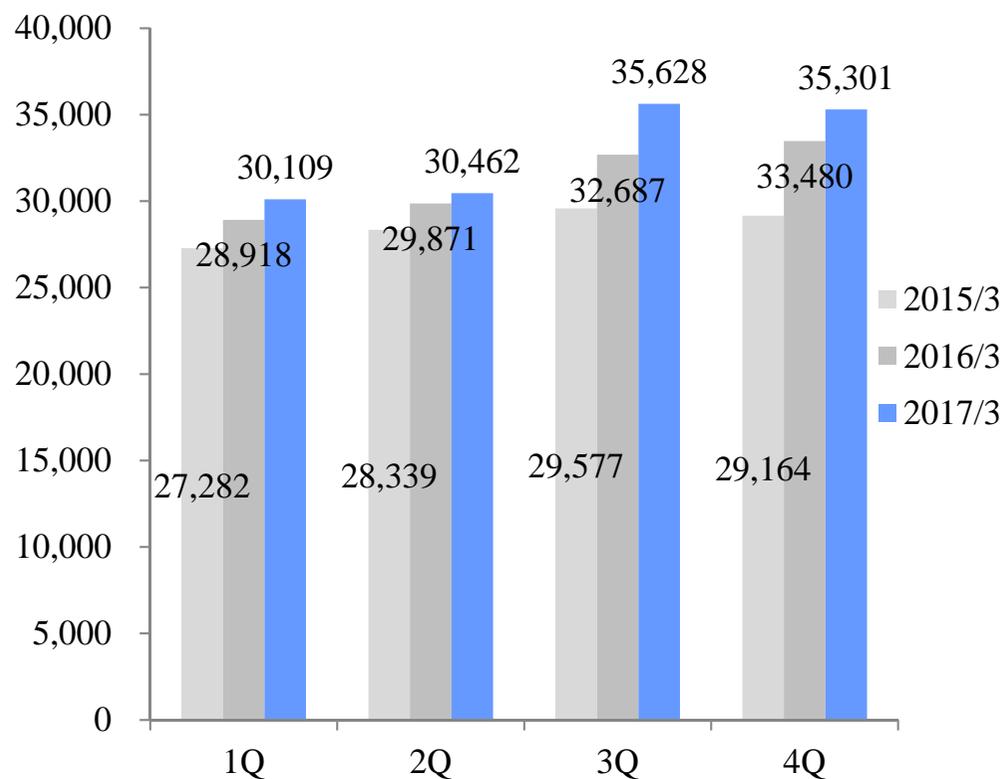
(単位:百万円)	2016/3期*	2017/3期	増減	増減率(%)
売上高	124,957	131,502	6,544	5.2%
売上原価	109,163	114,625	5,462	5.0%
売上総利益	15,793	16,876	1,082	6.9%
販管費	9,050	10,010	959	10.6%
営業利益	6,743	6,865	122	1.8%
利益率(%)	5.4%	5.2%	△0.2%	-
経常利益	6,688	7,065	377	5.6%
利益率(%)	5.4%	5.4%	0.0%	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,709	4,353	644	17.4%
利益率(%)	3.0%	3.3%	0.3%	-

- 増収:
 - ✓ 積極的なM&A
+7,407百万円(+11.5%)
 - ✓ BPO事業のニケタ成長
(セグメント売上高+13.0%)
- 増益:
 - ✓ 医薬品調達コストのコントロール・廃棄ロス削減
 - ✓ BPO事業の収益性改善
セグメント利益1.5倍
(CSO,人材派遣紹介)

*2016/3期は遡及修正値

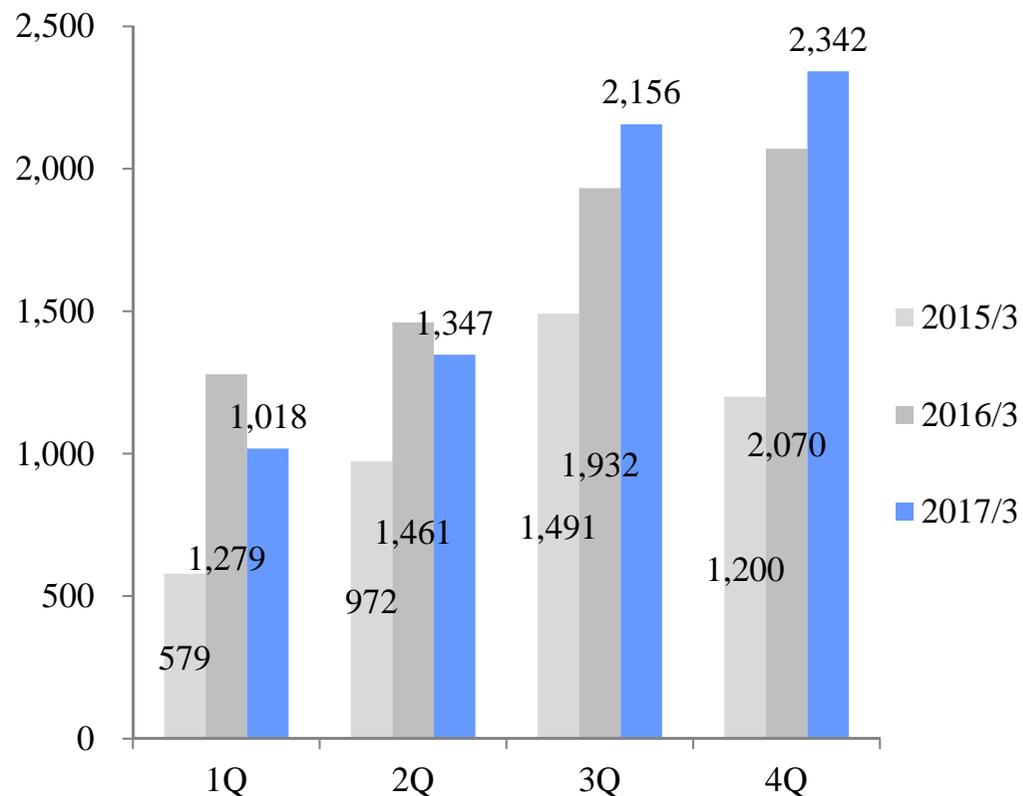
(百万円)

売上高四半期推移



(百万円)

営業利益四半期推移



✓ 1Q(4-6月) 2Q(7-9月) 3Q(10-12月) 4Q(1-3月)

2018/3期 連結業績予想



(百万円)	2015/3	2016/3*	2017/3	2018/3(予)	増減	増減率
売上高	114,363	124,957	131,502	145,000	13,498	10.3%
営業利益	4,243	6,743	6,865	7,500	635	9.2%
利益率(%)	3.7	5.4	5.2	5.2	-	-
経常利益	4,262	6,688	7,065	7,500	435	6.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,155	3,709	4,353	4,400	47	1.1%
1株当たり 当期純利益(円)	63.33	107.78	128.35	129.72	1.37	-
配当金(円)	20	24	24	24	-	-
配当性向(%)	31.6	22.3	18.7	18.5	△ 0.2	-
出店数	538	563	696	786	90	-

*2016/3期は遡及修正値